

# 高木まり

Vol.8  
2004.08

## さいたま変革プロジェクトNEWS

民主党さいたま・市政レポート北区版  
発行所:民主党さいたま市議団 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-279-6-202  
TEL 048-654-2559 FAX 048-652-6445 メールtakagi@marit.jp

**高木まり**  
さいたま市議会議員

1967年生まれ  
東京大学法学部卒  
東京銀行勤務  
枝野幸男秘書を経て  
2003年さいたま市議会議員初当選



高木まり  
公式サイト

<http://www.marit.jp>

## 議会よ、 なぜ市民から 離れていく!!

6月定例会の議員報酬の大幅アップ問題、7月臨時議会では正式決議前の5億円合併補正予算の成立と、議場において、なぜこんなに市民からかけ離れた議会がまかり通るのかと怒りと危機感に苛まれた議会となりました。

### 市民生活は不景気中、職員給与も減額中。 なぜ、市長・議員だけ？

「政令市になったから」という理由だけで今回、市長から報酬審議会への答申依頼があり、引上げの提案が出されました。確かに政令市化で市の業務は増えていますが、それを行う職員は財政難から給与減額が行われている最中、なぜでしょう。全く理解できません。

同じ問題意識を持つ議員たちと何とかできないかとその輪を広げようとしたのですが、圧倒的多数の議員が賛成の立場をとり、力及ばず、可決してしまいました。

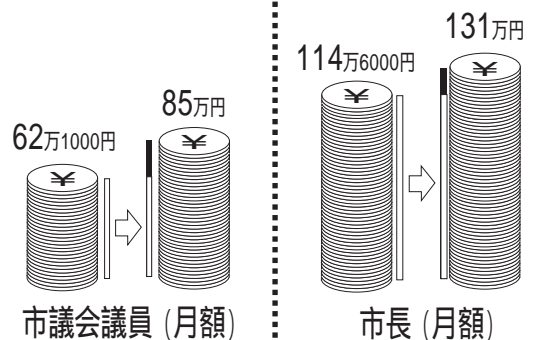
### 減額条例は期限延長が必須課題

今回、この値上げに対し、議会側からわずか5%という少額であります。減額条例が来年3月までの期限付きで提案されました。下げ幅が小さすぎることに問題がありましたが、せめてこの短かすぎる期限を何とか延ばせないかと、値上げ反対議員の動きで「見直し条項」の盛り込みに成功。期限見直しの際に、再度議員報酬の問題自体が見直されるよう、今後も議会内での努力を続けていきます。

では、「高木は上がった報酬をどうするのか」という問題ですが、今回反対した値上げの差額分について、今後一切自らの生活費にはしないことを決意致しました。具体的には、自らの政治団体への寄付とし、その活動を通じて市民還元を図っていくことにしました。政治団体は収支報告義務があり、情報公開の対象です。適正に使われているか、皆様の目でチェックして

## 理解できない 議員報酬の大幅アップ

### 反対するも、力及ばず



今回の報酬引上げの内容

### 議員報酬引上げ条例採決の結果

会派名	賛否	議員名
自民党彩政会		青木・青羽・清宮・日下部・清水・霜田紀・新藤・関根信・高橋良・鶴崎・土橋・中神・中山・芳賀・萩原・長谷川和・長谷川浄・福島・細沼・真取・武笠・吉山(佐伯=議長/吉田=病欠を除く)
公明党		石塚・今城・今村・上三信・川上・輿水・霜田雅・高橋勝・田口・花岡・日浦田
さいたま自民党		近藤・千葉
さいたま21		神崎・松崎
共産党	×	我妻・加川・神田・戸島・島海・山崎・山城屋・山中
無所属の会	×	斎藤・沢田哲・添野・土井・細川・森永
民主党	×	高木・高柳・田中
自治ネット	×	岡・伝田・松本
その他無所属		沢田力・関根隆・野口